

令和2年度鶴岡市国民健康保険運営協議会

第4回会議録

I. 日 時 令和3年1月25日(木) 13:00~13:30

II. 場 所 鶴岡市役所 議会棟 委員会室

III. 出席状況

	出 席	欠 席	
委 員	被保険者代表	佐藤 清八郎、齋藤 邦夫、佐藤 満也	小池 貢 齋藤 源之助
	保険医・保険 薬剤師代表	福原 晶子、佐久間 正幸、三原 一郎 迎田 健、鳥海 良明	
	公益代表	坂本 昌栄、田中 宏、秋葉 雄、阿部 寛 五十嵐 一彦	
	被用者保険等 保険者代表	鈴木 修	
	計	14名	2名
市 側	渡邊健康福祉部長 関係課長等 本 所 佐藤国保年金課長、中村課税課長、五十嵐納税課長 伊原健康課長 藤島庁舎 長谷川市民福祉課長 羽黒庁舎 佐藤市民福祉課長 櫛引庁舎 前田市民福祉課長 朝日庁舎 成澤市民福祉課長 温海庁舎 武田市民福祉課長 国保年金課職員(菅原課長補佐、山口主査、難波主事、渡部主事) 計 14名		

IV. 議事概要

1. 開 会 進行：国保年金課長

2. 会長あいさつ 秋葉雄会長

以下、秋葉雄会長が進行

3. 会議録署名委員の指名

会長より鳥海良明(保険医・保険薬剤師代表)、五十嵐一彦(公益代表)の両委員を指名

4. 報 告

- (1) 令和3年度国保事業費納付金及び標準保険料率について
 国保年金課長より説明
 ▼質問・意見
 なし

5. 協 議

- (1) 令和3年度鶴岡市国民健康保険税について
 国保年金課長より説明
 ▼質問・意見
 坂本昌栄委員(公益代表)

基金は、基本的には医療費の急激な増加を抑える意味があったが、平成30年度からは県と市町村の共同運営により、医療費は県から全額交付されるため、基金としての役割を果たさなくてもよくなったことを踏まえると、国保税の引き下げに充当するべきであると考えている。ましてや今、当局からは基金が6億あればと言われているにも関わらず、2億5千万円多くあるわけなので、貯金の取り崩しは改めてするべきではないかと考える。納付金が、4億6千万円増えた時でも単年度収支は4千万円の黒字であった。今まで経過した中でもずっと黒字が続いている。

国保税はもともと市民が病院にかかるときにかかった費用を補填するものであるにも関わらず、その市民がかかった費用より多く国保税を払わなければならないことは、市民目線で行くと出来るだけ抑えてほしいというのが、本来の国保税のあり方かと思う。今、それだけでなくコロナ禍において生活が苦しいと言われている人達がいっぱいいる中でも、国保税の負担はすごく大きくなっている。市民目線からすると市民要求に国保税の負担軽減があるということと、一度出された当局の引き下げ(案)に対して、それを否定するのであれば、審議会自体に対して市民から疑問の声が出て不思議ではないのかなと考える。国保税が高くて病院にかかるのが大変だと声を聞く。病院でも負担し国保税も払わなければならない。生活している市民の目線に立って、国保税を出来るだけ引き下げていくというのが、この委員会の持っている意味だと思っているので検討いただきたい。

国保年金課長

確かに基金残高が現在8億5千万円、繰越金13億円以上あるので、この分を使っての引き下げ案を前回提案した。今までの収支も良かったとのご発言ではあるが、単年度収支は令和3年度は黒字と見ているが、それ以降はやはり被保険者数の減少、あるいは一人当たりの医療費が上がっていくという状況を見越して、単年度収支が赤字になっていき、今後一気に留保財源が減っていくと見込として予想している。前回は5千円引き下げるとまた3年後に6千円引き上げという提案だったが、今回令和8年度まで見通したときに不安定な部分といえますか、コロナ禍での不透明なところも踏まえて、また県への納付金もこれから団塊の世代が後期高齢者になるというところを見て、納付金も減るといった要素が見えない。現在のところ見通しが不透明な点もあり、検討の結果、今後の備えとして税率は現状維持とさせていただいた。

秋葉会長

他にご意見ありませんか。

▼採決

原案のとおり承認いただける委員の挙手を求めます。
 挙手多数で協議会として承認と認めます。

(2) その他

田中宏委員（公益代表）

参考資料2ページの評価指標の見方についてお聞きしたい。1の保険者共通と比較すると2の国保固有の交付額が少ないが低い評価なのか。

国保年金課長

評価が低いのではという点については、点数としては実は取れている。国や県が見ているところは、後発医薬品の使用促進あるいは糖尿病等の重症化予防といったところにシフトした形での指標、ポイントになっている。逆にある程度の点数が取れているところでも更に上がある。国保固有の指標4、5あたりはある程度点数が取れているの交付額である。

なお、課題としてはだいたいところは同じ指標であるが細部に渡っては毎年少しずつ指標が変わるので、取り組みに活かすのに若干対応が遅れるなど苦慮している部分もある。健診、保健指導、健康づくりは更に強化できる部分もあるとみている。

田中委員（公益代表）

金額だけではないことがわかった。鶴岡市は県内32保険者の11位で中ほどにあり平均より上であるので努力が評価されていることを理解した。今後も健診の充実等に取り組んでほしい。

鳥海良明委員（保険医・保険薬剤師代表）

不織布マスクや手洗いなど基本的な感染対策を国保から推進していただきたい。

6. その他

○国保年金課長から次回の運営協議会の開催日程について説明。

令和2年度第5回の運営協議会を2月10日開催を予定しています。後日案内を送付します。

7. 閉 会

議 長 秋葉 雄

会議録署名委員 五十嵐 一夫

会議録署名委員 鳥海良明